

平成26年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価

# 報 告 書

平成27年3月

常総市教育委員会

## 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の概要

### 1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第27条第1項の規定に基づき、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果について報告書を議会に提出するとともに公表する。

### 2 点検・評価の対象

平成25年度常総市教育運営方針に掲げる事務

### 3 点検及び評価の方法

- ①平成25年度常総市教育運営方針の重点目標に対する主な取り組み、成果等を取りまとめ、常総市教育審査委員の総合的な評価を受けた。
- ②平成25年度常総市教育運営方針に基づく当該年度の事務の管理及び執行の状況を項目別に整理し、達成度を3段階で自主点検するとともに、これに対する今後の方向性を示した上で、常総市教育審査委員がその有効性を3段階で評価し、及び意見等を付した。

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第27条第1項の規定に基づき、平成25年度の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価を実施したので、次のとおり報告する。

平成27年2月23日

常総市教育審査委員 梅 澤 浩

常総市教育審査委員 廣 瀬 征 夫

〈点検及び評価の方法〉

平成25年度当初に策定された「教育運営方針」を基に、当該年度の事務の管理及び執行の状況並びに自主点検結果について担当課から説明を求め、内容を確認した上で、個別の事務の有効性を委員2名の協議により3段階で評価するとともにこれに意見を付した。

## 平成25年度常総市教育運営方針

常総市では、合併後の平成19年に「健やかにひとを育み 緑豊かなまちづくり じょうそう」を市の将来像として常総市総合計画を策定し、この度、本年度から5年間に取り組むべき基本方針として「常総市総合計画後期基本計画」を策定しました。これを実現するには、市民の生涯を通じた学習活動の広がりが必要不可欠であります。そこで、地域ぐるみでのまちづくりを支える人づくりや創造性豊かな将来を担う子どもたちの育成と共に、地域文化が育まれ、人と文化づくりを実感できる「豊かな人間性を育むまち」を目指します。

そのため、次の基本目標を掲げその実現に努めます。

### ◎ 基本目標

- |   |           |              |                |
|---|-----------|--------------|----------------|
| 1 | 未来に夢をもち   | 「生きる力」を育む    | 学校教育の充実        |
| 2 | 安全        | 安心           | いきいき学ぶ 教育環境の整備 |
| 3 | 市民のための    | 進んで学ぶ生涯学習の推進 |                |
| 4 | いきいき健康づくり | 生涯スポーツの振興    |                |

## 1 学校教育を充実し、次世代を育てます

各幼稚園・学校が創意工夫を生かし特色ある教育活動を展開することで、幼児・児童・生徒が豊かな人間性や基礎的・基本的な内容を確実に身に付け、個性を生かし、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」を育むという学習指導要領の趣旨を踏まえる一方、常総市の課題解決に向けた教育や特色を生かした教育の実践を目指します。

### ◎重点目標

- ① 震災被害の復旧，中学校の改築及び小学校の教室不足の対応を図るとともに，校舎等の耐震化の計画的な推進による教育環境の整備・充実を図る。（…学校教育課）

#### 【主な取組，成果等】

##### ○震災被害の復旧

- ・石下西中学校

校舎並びに屋内運動場の完成に伴い，外構工事に着手した。

校舎の完成により，石下総合運動公園内の仮設校舎を解体・撤去し，駐車場への復旧を行った。

##### ○中学校の改築

- ・水海道西中学校

昨年度の校舎の完成を受け，教室棟の解体・撤去及び外構工事を実施し，事業を完了した。

##### ○絹西小学校の改修

児童の増加等に対応するため，職員室，配膳室の拡張，一部教室の改修，渡り廊下新設等を実施した。

##### ○耐震化の推進

豊岡小学校校舎，菅生小学校校舎，大花羽小学校屋内運動場の耐震補強工事を実施した。また，平成26年度工事予定の菅原小学校校舎について実施設計を行った。

- ② 新学習指導要領等の内容を踏まえ，確かな学力を身に付けさせる指導を充実し，教員の指導力の向上と指導のための環境整備，拡充を図る。（…指導課）

#### 【主な取組，成果等】

学校改善プラン，授業改善シートを基に，計画訪問，要請訪問をとおり

て学習指導の改善を図った。

- ③ 教科指導をはじめとした I C T活用の推進を図る。(…指導課・学校教育課)

**【主な取組, 成果等】**

- ・学校訪問において, I C T活用事例を示したり, 具体的に機器の活用事例を提示したりすることで教員の意識の向上を図った。各校における授業公開において, 教材提示装置やデジタル教科書提示など大型テレビ等を活用した授業展開が多くみられた。
- ・ I C T活用研修を実施した。  
校務支援システム研修 (H25. 4)  
市教育研究会と「コンピュータ研修講座」を開催 (H25. 8)

- ④ 幼保一元化(認定子ども園)の研究・検討を推進する。(…学校教育課)

**【主な取組, 成果等】**

- 平成 24 年 10 月子ども・子育て関連 3 法の成立に伴い, 子どもすくすく課との検討会を実施している。

## 2 生涯を通じた学習活動を促進します

自ら進んで学ぶ生涯学習社会に呼応し、多様な学習機会と情報の提供、指導体制の充実を図り、自己実現に向けた市民の主体的な取組みを積極的に支援します。また、各種文化事業やスポーツ事業の充実と活動組織の育成を図り、市民相互の交流を促進します。さらに、市民の誇りである貴重な有形無形の歴史文化遺産の適切な保全・継承に努めるとともに、情報発信と有効活用を進めます。

### ◎重点目標

- ① それぞれのライフステージに応じた多様な学習機会を充実させ、生涯にわたる学習の継続による一人ひとりの資質・能力の向上を目指す生涯学習を推進する。（…生涯学習課）

#### 【主な取組、成果等】

前期講座（6月～11月）と後期（12月～3月）に分けて、教養講座（市民大学・文学、歴史コース）書道、芸術（フラワーアレンジメント等）・音楽講座（クラシックギター）、運動・健康講座（ヨガ、フラダンス）癒し・生活講座などひとりひとりのライフスタイルや年齢、興味に応じて公民館等で講座を実施した。

#### 成果等

各講座募集定員に対して応募数が増えている。幅広い年齢の人々が参加し、講座によっては、受講者の要望により基礎からはじまり応用編講座につながっており、参加者同士でサークル活動などを展開したり、学ぶことへの意欲が高まっている。

- ② 市民の自主的文化・芸術活動を支援する。また、再生の出来ない郷土遺産の保全、歴史的建造物、資料等の利活用を推進する。（…生涯学習課）

#### 【主な取組、成果等】

常総市では文化的イベントとして「長塚節文学賞」を継続して開催・運営しており、25年度の長塚節文学賞では応募総数21,801点あまりに達し、応募は増加傾向にある。同じく市イベント篠山木挽き唄全国大会、風土博物館坂野家住宅コンサートも増加傾向にあり、文化行事への関心は高まっていると考えられる。



また市民主体文化イベント「市民文化祭」も継続して開催されており、団体数の減少は見られるが、内容の更新が続く等開催への意欲は高い水準を維持している。

- ③ 教養文化，調査研究，リクリエーション等に資するとともに，変化する社会に即応した諸課題での地域支援など市民にとって身近で役に立つ情報提供と資料の充実した図書館づくりを推進する。（…図書館）

【主な取組，成果等】

○図書館サービスの充実

- ・資料の充実については，自館に所蔵の無い資料についても相互貸借制度を利用して，県内の他館から借受した資料を利用者に提供することができた。また，他県の県立図書館へ貸出を依頼することで，学術書などの提供の幅も広がった。
- ・レファレンス業務については，従来は，担当者が個別に口頭で対応することが多かったが，手書きの記録を電子データに改めることでデータの蓄積を図り，利用者の利便性が向上した。
- ・ブックスタートについては，12か月児健診での受診者，ほぼ全員がブックスタートに参加した。
- ・県立図書館の出前講座や県立歴史館の出前講座を利用することで，図書館利用者の増加につながった。
- ・図書館で育成した読み聞かせボランティアと協力団体が，小学校・保育所・幼稚園・学童保育に積極的に読み聞かせを行った。昨年度より読み聞かせの希望が多くなり，より活発に活動を行うことができた。
- ・H25年8月に小中学校図書館整理事務補助員の研修会を行い，学校図書館の役割についての講習，図書の整理についての講習と，製本の実習を行った。整理事務員が交流を持ち，学校にある図書を有効に活用してもらうことで，学校図書館の活性化につながった。

○図書館サービス網の強化

- ・H26年2月から小中学校への団体貸出を開始した。図書館の資料を有効に活用してもらうことで，学校図書館の資料の充実につながった。

事業名	実施日	場 所	参加者数	対象者	事業内容
ブックスタート	毎月第2木曜日 隔月第3木曜日	水海道保健センター 石下福祉センター	308名 103名	12ヶ月健診 対象者	保健指導実施の12ヶ月健診時にボランティアの協力のもと絵本の紹介と絵本を1冊配布。絵本を介して親子のふれあいの普及を図った。

事業名	実施日	場 所	参加者数	対象者	事業内容
おひなし会	毎月第2 日曜日	図書館児童室おひなし室	58名	乳幼児と保護者	ボランティア「あすなろ」の協力で絵本の読み聞かせを行った。
	毎月第3 日曜日	図書館児童室おひなし室	37名	乳幼児と保護者	図書館登録の読み聞かせボランティアの協力で絵本の読み聞かせを行った。
	毎月第4 日曜日	図書館児童室おひなし室	46名	乳幼児と保護者	図書館職員による読み聞かせを行った。
	12/7(土)	図書館児童室おひなし室	20名	乳幼児と保護者	水海道一高生による読み聞かせを行った。
赤ちゃんと遊ぼう	毎月第2 水曜日	図書館児童室サークル	116名	乳幼児と保護者	図書館職員による絵本の読み聞かせ、てあそび、わらべうたを行った。
子ども映画会	毎月第4 日曜日	図書館視聴覚室	104名	小学低学年以下	毎月第4 日曜日の「お話し会」終了後、30～40分程度の映画を上映。
絵本巡回配達便	隔月	市内保育所・公立幼稚園	市内保育所及び公立幼稚園園児		図書館で所蔵する絵本を各保育所・公立幼稚園に貸出し、2ヶ月ごとに保育所・幼稚園を巡回した。
リサイクルフェア	4/20(土)～21(日) 10/5(土)～6(日)	二水会館	309名 262名	総記本数 4,000冊	不要になった図書・雑誌を公共施設又は市民に配布。
お薦めの絵本展示発表	4/23(火)～ 5/12(日)	児童書架	77名	小学生以下	お薦め絵本の書名を花や葉っぱのカードに記入し、幹と枝だけの木こ花を映かせカードの多かった本を展示した。
一日図書館員	5/5(日)	図書館	7名	小学校4年生～6年生	図書館職員の仕事(カウンターでの貸出や返却、本の整理等)を体験してもらう事で本に対するの親しみをもってもらった。
読み聞かせボランティアの派遣	H25.5～H26.4	市内保育所、幼稚園、学校(23施設 153回開催)	3,591名	小学生、幼稚園児	各施設の希望を取りまとめ、図書館で養成したボランティアを派遣した。
原画展及び講演会	原画展 5/5(日)～6/16(日) 講演会 6/9(日)	一般書架 図書館視聴覚室	65名	市内住民	絵本作家武田美徳先生による講演会および原画展(幼児から絵本に触れることで、成長とともに心豊かな人間に育てる)
手づくり絵本教室	7/25, 8/1, 8 (各木曜日)	図書館視聴覚室	13名	県内住民	絵本を読むだけでなく、物語の作成から製本の仕組み等、本を手作りすることで本の愛着や大切に作る心を育てる。
お父さん・お母さんの読み聞かせ(県立歴史館出前講座)	8/11(日)	図書館視聴覚室	13名	市内住民	読み聞かせの大切さについて、実演を交えながらの講義により、家庭内での親子の読み聞かせの大切さを学ぶ。

事業名	実施日	場 所	参加者数	対象者	事業内容
レレコスモスコンサート	8/17(土)	二水会館	50名	市内住民	オペラ歌手3人が繰り広げる歌とウクレレのポップな世界。
学校図書整理補助員育成事業	8/22(木)23(金)	図書館視聴覚室	19名	市内住民	学校図書整理補助員に対して、キハラ侏製本アドバイザーによる図書の製本講習及び市図書館職員による図書の整理や分類についての講義
ブックキャラバン	8/25(日)	図書館視聴覚室	34名	市内住民	講演会によるキャラバンカーの見学とお話し会
学校図書館支援事業(県図書館事業)	9月～	モデル校		海小、 五箇小、 豊田小、 海西中	県立図書館・市図書館・市教員連携し学校図書館の司書教諭のサポートや学校図書館活動の充実を図る。
勾玉作り(県立歴史館出前講座)	9/14(土)	図書館視聴覚室	20名	市内住民	縄文時代から作られていた勾玉についての解説とろう石を使った勾玉作りを体験した。
ジルトーンコンサート	10/27(日)	二水会館	80名	県内住民	二水会館の音響効果をかしたコンサート(まちなか 展覧会との協賛)
東日本大震災写真展	11/1(金)～ 14(木)	二水会館	562名	県内住民	古河市在住の倉持先生の撮影した東日本大震災被災地復興記録写真展 約120枚
手作りカルトナー ジュ講座	11/23(土)	図書館視聴覚室	10名	市内住民	厚紙を組み立てた箱に、好みの布をはりつけて仕上げた。
クリスマス会 (パネルシアター)	12/15(日)	図書館視聴覚室	85名	市内住民	ボランティアグループ「ハミング」によるパネルシアター公演と公演終了後はおぼろぐりに色とりどりのシールを貼りミニクリスマスツリーを作った。
移動博物館	1/28(火)～ 2/16(日)	図書館視聴覚室	575名	県内住民	茨城県自然博物館による標本等の展示と落ち葉を貼ったしおり作りの体験活動を行った。
和紙絵教室	3/13(木)	図書館視聴覚室	16名	市内住民 (中学生以上)	色紙と和紙を貼って富士山を完成させた。完成した作品は、図書館1階和紙前で展示をした。
ボランティアレベルアップ研修会	3/18(火)	図書館視聴覚室	40名	読み聞かせ ボランティア 団体	市内読み聞かせボランティア団体に対して、NPO法人語りネットワーク理事の荒木文子先生を招いてのスキルアップ研修会

○図書館施設機能の充実

- ・視聴覚室・集会室を土日祝日・春夏冬休み期間中、学習室として開放し、

昼食用休憩室として和室を使用できるようにした。

- ・一般開架室及び参考図書室のLED化，トイレの修繕等を行い施設の充実に努めた。

- ④ 誰もが生涯を通じてスポーツを楽しみ，健康づくりを進める生涯スポーツ社会の実現を目指し，総合型地域スポーツクラブの設立を支援する。  
(…スポーツ振興課)

**【主な取組，成果等】**

現在，設立されている総合型地域スポーツクラブである「常総スポーツクラブ」の活動を支援しており，主な支援活動は，活動施設の確保，事業の広報，スポーツ教室の委託を実施している。幼児から高齢者まで，手軽に参加できるスポーツ活動が中心となっているため，会員数も高齢者を中心に増加の傾向となっている。

○総合型地域スポーツクラブ「常総スポーツクラブ」への活動支援

・活動施設の確保

五箇小学校校庭（小学生陸上教室開催）

五箇小学校体育館（未就学園児キッズサッカー教室，  
ジュニアショートテニス教室）

飯沼小学校体育館（未就学園児キッズサッカー教室）

水海道総合体育館（一般社会人から高齢者までのショートテニス）

石下総合運動公園（ジュニアマラソン教室，中高齢者を対象としたスロージョギング教室）

石下西体育館（フットサル教室）

・活動事業の広報支援

常総スポーツクラブ主催のスポーツ教室及びスポーツ大会開催のお知らせ

「お知らせ版」3月，10月，12月，1月号に掲載

・スポーツ教室委託事業

一般を対象としたウォーキング教室開催

委託費 10日間 100,000円 20名参加

- ⑤ スポーツをとおしてふれあい，市民相互の交流活動を促進する魅力あるスポーツ体験イベントを開催する。（…スポーツ振興課）

**【主な取組，成果等】**

○平成25年度 親子 de いきいきスポーツ体験フェスタの開催

- ・期 日 平成25年11月24日(日)
- ・場 所 石下総合運動公園内 各スポーツ施設
- ・趣 旨 市民が様々なスポーツを体験することで、心身ともに健康に暮らせる社会づくり及び地域の活性化に寄与することを目的とする。また、親子マラソン、親子 de チャレンジ、各種スポーツ教室の開催により、「親と子の絆」「地域の絆」を深め、スポーツをとおして世代間の交流及び青少年の健全育成を図る。そして、地域のスポーツ団体(体育協会専門部、高等学校)との交流により、地域スポーツの普及と発展に貢献する。
- ・内 容
  - ①親子ふれあいマラソン(2 km, 1 km) 267組(534人)  
未就学児童及び園児から小学1年生～4年生の親子
  - ②いきいきマラソン(3 km) 48人  
小学5年生, 6年生の男女
  - ③親子 de チャレンジコーナー  
ゲーム形式によるスポーツ体験  
(未就学児童及び園児～小学生の親子) 400人
  - ④各種スポーツ教室
    - ・ハンドボール教室(全日本選手による指導)  
31人
    - ・陸上教室(水海道第一高等学校陸上部による指導)  
22人
    - ・硬式テニス教室(体育協会専門部による指導)  
21人
    - ・親子バドミントン教室(体育協会専門部による指導)  
12組(24人)
    - ・親子ビクス教室(スポーツ推進員)  
12組(24人)
    - ・トランポリン体験(スポーツ少年団指導者)  
212人
    - ・親子ビーチボール(体協協会専門部)  
17組(34人)
  - ⑤体力測定(スポーツ推進員) 30人  
市民一般を対象にした体力年齢の測定
  - ⑥健康運動相談(スポーツドクター) 40人

生活習慣や運動習慣による健康相談コーナーを設置

・参加人数 参加者及び運営係員総数 延 1,400 人

#### ※開催成果

開催から 5 回目となり常総市を代表するスポーツイベントとして、広く市民に知られるようになった。特に親子ふれあいマラソンは、年々参加者が増加の傾向になっている。また、近隣自治体からの参加希望の問い合わせが増え、地域を活性化するためのイベントとして大いに貢献しているものと評価できる。また、運営についても、市内スポーツ団体である体育協会やスポーツ少年団からの協力が得られ、地域の人材を活用する良い機会となり、地域の一体化と活性化が図られているものと思われる。

## 総合評価

### 1 「学校教育を充実し，次世代を育てる」ことについて

- 震災被害からの復旧，中学校の改築，小学校の改修，耐震化を行い，教育環境の整備・充実を図り児童生徒が安全・安心に教育を受けられるよう最優先で取り組んだ。今後も計画に基づき進められたい。
- 学習指導要領に則り，着実な指導を行うために計画訪問や教員研修等をさらに充実した取り組みを願う。
- 時代が要求するICTの活用をさらに積極的に推進されたい。
- 幼保一元の体制と預かり保育を充実されたい。

### 2 「生涯を通じた学習活動を促進する」ことについて

- 生涯にわたって学ぶ楽しさの学習機会，環境のさらなる充実を期待する。公民館，学習センターでの講座の受講者数も増えている。内容のマンネリ化，受講者の高齢化・固定化，講師の不足等の課題もあるが困難を克服して文化・教養の地，常総の創生を望む。
- 市民の文化活動を支援したり，郷土の歴史遺産を大切にすることは郷土を愛することである。文化的イベント（特に長塚節文学賞，篠山木挽き唄全国大会，坂野家でのコンサート）のさらなる充実を願う。文化活動を行う施設の整備や有効利用の検討を願う。
- 図書館サービスについては，積極的，意欲的な取り組みが多く，今後も継続されたい。
- 高齢化が進行し，健康寿命を延長させる意味からも，手軽にできる総合型地域スポーツ（常総スポーツクラブ）のさらなる充実のための支援を望む。
- 親子deいきいきスポーツ体験フェスタは市民の関心が高い。少子化に対応して親子のふれあいをはじめ，世代間交流，青少年の健全育成等多くの有効性があり継続を望む。

<項目別点検及び評価>

<b>達成度</b>	計画又は目標を	<b>有効性</b>	
○	達成又は概ね達成	◎	成果がある
△	及ばず	○	一定の成果がある
×	実施できず	×	成果がほとんどない

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
1-(1) 学校教育の充実						
①就学前教育の充実						
	教育環境の整備	園児の安全を第一に老朽化した施設の修繕を優先的に実施した。 工事件数：42件 工事費：2,948千円	△	再編・統合計画の進捗を見極め、改築計画を検討していく。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの安全を第一に施設の老朽化点検，修繕，耐震化への対応は最優先の事業である。</li> <li>・幼保一元の体制，預かり保育の充実を図るべきである。</li> </ul>
		自然や地域の環境を生かした体験学習，交流学習の推進	○	計画的，継続的な取組を続ける	◎	
	幼稚園・保育所の一元化の研究	幼稚園施設の老朽化や園児数の減少等を踏まえ，公立幼稚園のあり方について検討中。	△	幼稚園の再編方針決定及び子ども・子育て支援計画の策定を受けて進める。	○	



区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
②学校教育環境の整備	学校施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災した石下西中学校校舎等の建設推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>校舎 H25.9竣工 工事費：1,207,269千円</li> <li>屋内運動場 H26.2竣工 工事費：360,150千円</li> </ul> </li> <li>老朽化した水海道西中学校整備（校舎H25.1竣工）               <ul style="list-style-type: none"> <li>教室棟解体 工事費：88,200千円</li> <li>外構整備 工事費：141,750千円</li> </ul> </li> <li>児童数の増加等に対応した絹西小学校の改修 工事費：50,207千円</li> <li>耐震補強の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>件数：3件</li> <li>工事費：豊岡小校舎 80,403千円 菅生小校舎 190,773千円 大花羽小屋体 38,409千円</li> </ul> </li> </ul>	○	震災復旧，耐震化完了後は，普通教室等の空調設備の整備を行う。その後，建築後30年を超えている校舎，屋内運動場等の老朽化対策（大規模改造等）に着手する。	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>震災からの復旧，耐震化が終了しても安全な環境の整備が第一である。</li> <li>防犯カメラの設置，危険な通学路の点検，整備は継続する必要がある。</li> <li>総合的な学習時間で卒業生や地域の人材を有効に活用する企画が必要である。</li> <li>期待され，信頼される学校にしてほしい</li> </ul>
	教育環境の充実	学校情報通信センターシステム，校務支援システムの運用により，学校情報化及び教職員の業務の軽量化を図った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>センターシステム運用経費：17,640千円</li> <li>校務支援システム運用経費：2,571千円</li> </ul>	○	老朽化した情報機器を計画的に更新していく。	◎	
		一般備品（図書含）：小学校 9,775千円 中学校 4,545千円 教材備品：小学校 10,253千円 中学校 6,286千円	○	現行どおり継続する。	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
		県立図書館や市立図書館との連携による読書教育の充実	○	継続して進める	◎	
	学校の安全対策強化	危険箇所及び老朽化した施設の修繕を優先的に実施した。 工事件数：小学校197件，中学校56件 工事費：小学校35,761千円，中学校9,432千円	○	現行どおり継続する。	◎	
	通学環境の整備	通学路の安全確保と歩道や街路灯設置の推進については，関係機関へ改善要望をした。特に中学校については関係機関と合同点検を実施した。	○	通学路の危険箇所改善については，関係機関へ要望する。	◎	
	地域と連携する学校運営	総合的な学修の時間における地域の人材や資源の教育的活用	○	継続して進める	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
③学校教育内容の充実						
	新たな教育課題への対応	小中学校における新学習指導要領実施を踏まえた教育指導の充実	○	計画的、継続的な対応を続ける	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領に則り計画的、継続的に対応していただきたい。</li> <li>・ICT活用のリテラシーを十分に浸透させるために教員への計画的な研修が必要である。</li> <li>・国際化に対応して英語教育の充実を願う。</li> <li>・学校教育等の充実のため指導主事の4名配置は適正である。</li> <li>・ALTの配置と活用は適正である。</li> <li>・若手教員研修会の実施は良い取り組みである</li> </ul>
	体験的地域学習の展開	中学生議会の開催。地域の環境や資源を教材にし、地域の人材を活用する体験学習の実施。	○	継続して進める	◎	
	高度情報化への対応	学校情報通信センターシステムを運用するとともに、学校訪問等を通してICT活用事例を示し、情報教育の推進を図った。	○	学校ICT推進委員会での議論等を踏まえ、学校現場と連携して教育の情報化を推進していく。	◎	
	交流教育・国際理解教育の推進	英語指導助手（ALT）の活用による小学校からの英語活動の充実。「ALTとあそぼう」の実施	○	計画的、継続的な取組を続ける	◎	
	特別支援教育の充実	幼児児童生徒の個別の教育的ニーズに応じた指導の充実。	○	継続して進める	◎	
	教職員の育成	若手教員研修会の実施	○	継続して進める	◎	
④健康な児童生徒の育成						
	安全教育の充実	放射能教育の学年発達段階に応じた推進と適切で安全な避難訓練の実施	○	計画的、継続的な取組を続ける	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故，火災，プール事故，地震，放射能事故，食中毒，流行病等について発達段階に応じてスローガンを作り，計画的に進めて欲しい。</li> <li>・心身ともに健康な子供を育てて欲しい。</li> <li>・適応指導教室における教育相談は良い取り組みである。</li> </ul>
	教育相談の充実	適応指導教室における教育相談体制の整備と充実	○	継続して進める	◎	
	体力向上及び健康管理の強化	体育的行事の奨励による体力の向上，運動部活動の充実と効果的な指導の推進 保健事業と健康管理，体育・保健体育科教育，健康教育及び学校と家庭の連携による心身ともに健康な児童の育成	○	計画的、継続的な取組を進める	◎	
	基本的な生活習慣の確立	常総市子どもフォーラムを実施した。	○	継続して進める	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価		
			達成度	方向性	有効性	意見	
<b>⑤食育の推進</b>							
	学校給食の充実	地産地消を積極的に活用し、栄養バランスの取れた学校給食を提供した。	○	現行どおり	◎	・健康な身体作りに食育指導が重要であり、地産地消の活用も適正である。 ・給食費未納の解消へ向けたの取り組みは成果である。	
	学校・家庭・地域との連携	特別活動や家庭科等において、児童・生徒に食に関する指導を実施した。	○	現行どおり	◎		
		講話を実施し、給食だよりを配布することにより家庭との連携を図った。	○	現行どおり	◎		
<b>1-(2) 高校・高等教育の充実</b>							
<b>①高等学校の特色化</b>							
	地域活動との連携	生徒指導中学校区委員会における高等学校や地域社会との連携強化	○	継続して進める	◎	幼小中高と地元関係機関との連携は、児童・生徒の実態を把握するうえで有効である。	
	高等教育機関等との連携	地域の高等学校が主催する弁論大会における中学生の積極的な参加。	○	継続して進める	◎		
<b>②幼稚園・小学校・中学校・高等学校の連携</b>							
	連携した事業の取組み	子どもフォーラムの実施。(幼小中連	○	継続して進める	◎		
	協力して進める行事等	各中学校で行われる中学校区委員会へ参加し、小中学校、民生委員等地域関係者との情報交換を行う。	○	引き続き連携を推進する。	◎		
<b>1-(3) 青少年の育成</b>							
<b>①青少年育成推進体制の強化</b>							
	関係機関・関係団体との連携	茨城県及び公益社団法人茨城県青少年育成協会との連携を図り推進した。	○	引き続き連携を図る。	◎	・青少年の問題行動の傾向を知るために関係機関との連携はより必要になる。青少年育成の組織が未設置地区がないようにして欲しい。	
	育成組織の強化	青少年育成常総市民会議の石下地区における支部の未設立	×	石下地区での支部の設立推進を図る。	×		

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
②青少年育成活動の推進						
	学校・家庭・地域との連携	放課後子ども教室の開催 市内14小学校内12校で開催	○	全小学校での開催を目指す。	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全小学校で「放課後子ども教室」の設置を願う。</li> <li>・高校生リーダーを大いに活用すると効果的である。</li> </ul>
	活動企画の充実	ふれあいサマーキャンプの実施及び高校生リーダーズの指導活動の推進 ○ふれあいサマーキャンプ 平成25年8月25日～27日 場所：国立乗鞍青少年交流の家(岐阜県) 参加者：61人 ○ふるさとの秋まつりへの参加 平成25年10月20日 場所：あすなろの里	○	引続き企画の充実を図る。	◎	
	地域環境の改善	青少年相談員会による街頭指導活動や青少年育成常総市民会議各支部によるあいさつ声かけ運動の実施及び通学路の安全点検	○	定期的な街頭指導活動や市一体となったあいさつ声かけ運動の実施	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
2-(1) 生涯学習の充実						
①生涯学習推進体制の整備						
	生涯学習ネットワークの整備	「②学習施設の充実」と内容が重複するため、平成26年度運営方針で削除済み。	×	廃止	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も諸団体への支援活動を継続してほしい。</li> <li>・特に開設講座のPRに努める</li> </ul>
	推進組織づくり	諸団体の活動支援と指導者の発掘・育成に努めたが連携が不十分である。	△	引続き活動支援と人材発掘・育成に努める。	○	
	学習情報の提供	広報誌や市HPによる案内のほか、全戸にチラシ配布し、講座開設のPRに努め	○	引続き、全戸配布チラシ実施	◎	
②学習施設の充実						
	学習施設の機能充実	空調など緊急性の高い箇所については補正予算により改修工事を実施した。 工事件数：7件 事業費：8,983千円	○	現行どおり	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用は有効、活発である。</li> <li>・施設の借用手続きの簡素化を望む。</li> <li>・地域交流センターの図書室は環境整備が適切である。</li> </ul>
	施設の有効利用	各種講座・イベント・企業や団体等の研修利用の実施	○	引続き実施する。	◎	
③学習活動の支援						
	学習プログラムの提供	各種講座・教室の開催・市民大学事業開催 ・学習プログラム・企画・学習機会の提供の開催実施 ・歴史コース・文学コースなどの学習プログラム開催実施	○	受講者等のアンケート結果を反映した講座の開催を図る。	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館と学習センターの講座が重複したり、内容のマンネリ化の傾向を検討して欲しい。</li> </ul>
	自主企画の推進	生涯学習センター自主事業 期日：平成26年2月22日 内容：ダ・カーポさわやかコンサート	○	自主企画事業の計画的な開催を図る。	◎	
	地域課題対応の活動推進	家庭教育学級の開催 市内19校全校で開催	○	引続き実施する。	◎	
	公民館活動の推進	公民館まつりの開催及び各公民館の自主事業の開催	○	引続き実施する。	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
④図書館活動の推進						
	図書館サービスの充実	市民のニーズに応え資料の充実を図った。 蔵書数 図書138,956冊 視聴覚資料13,908点 25年度資料購入費12,635千円	△	拡大	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務は適正に執行されている。</li> <li>・図書、視聴覚資料等の購入費の増額が必要である。</li> <li>・ブックスタートや読み聞かせボランティアの育成は引き続き継続を望む。</li> <li>・市民の郷土資料の閲覧に際しては、資料の保管場所情報について交流センターや公民館の図書室とも連携を図りたい。</li> </ul>
		Webによる予約数は図書1,085件、雑誌21件、CD135件	○	Web利用者は年々増加している。今後も増加の傾向が見込まれる。	◎	
		保健推進課で実施する12か月児健診の際、ブックスタートを実施している。 参加者 411人 絵本・イラスト・DVD集代 247千円	○	絵本を通して親子の触れ合いを普及している。乳児の頃からの図書館利用にもつながる	◎	
		県立図書館出前講座 お父さんお母さんの読み聞かせ 8/11 13名 県立歴史館出前講座 勾玉づくり 9/14 20名 移動博物館 1/28～2/16 575名	○	来年度も希望していく。	◎	
		読み聞かせボランティアの育成と実施(23施設 153回 登録27名 協力団体3団体)	○	ボランティア人員が増えないため広報を強化する。	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
		学校図書館整理事務員の研修会を実施 8/22. 23	○	学校図書館の活性化に向けて、 26年度も実施していく。	◎	
	図書館サービス網の強化	26. 2月から順番に小中学校に配本を行って いく。(今年度は石下西中)	○	順次小学校中学校 に対し書籍を 配本する。	◎	
		図書館HPの充実 図書館利用のPR, イベントポスター・パンフレットの作成 配布	△	HPについて は、イベントP Rも含めて再考 する。	○	
		近隣市町村の広域間の利用の実現	×	近隣市町村との 協議が必要	×	
	図書館施設機能の充実	増改築を含む図書館新設の実現に向けた 検討及びワーキンググループの立ち上げ	×	市の方針により 新設なしで決 定。	×	
		視聴覚室・集会室等の学習室としての開 放	○	現行どおり、現 施設の中で開 放。	◎	
		飲食可能なスペースの提供	△	飲食とも場所や 時間等制限を設 け利用可。	○	
2-(2) スポーツの振興						
①スポーツ施設の有効利用						
	スポーツ施設の整備・充実	○水海道総合体育館 トップライト雨漏り修繕 299,250円	○	施設・施設内の 器具を整備し、	◎	・事故が起きてからでは遅すぎる ので、施設設備の検査、点検 等を充分に行い安心して利用で きるように引き続き取り組んで



区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
		体育館周りタイル修繕 249,900円	○	スポーツ環境の 充実を図る。	◎	欲しい。 ・各学校でのプール管理運営には負担が大きいので「きぬ温水プール」の存在は有り難い。 ・学校の体育施設を積極的に開放し、社会体育の振興にさらに寄与して欲しい。
		手摺り取付工事 297,780円	○		◎	
		○石下総合体育館				
		移動式バスケットボール板修繕 630,000円	○		◎	
		メインアリーナ雨漏り修繕 189,000円	○		◎	
		○石下テニスコート				
		石下テニスコート修繕 299,250円	○		◎	
		○水海道球場				
		スプリングラー交換修繕 115,500円	○		◎	
		判定・時計・放送設備改修工事 2,709,000円	○		◎	
		スコアボード設置工事 2,782,500円	○		◎	
		○きぬ温水プール				
		真空式温水機部品交換修繕 273,000円	○		◎	
		○吉野サン・ビレッジ				
		夜間照明ランプ取替修繕 199,815円	○	◎		
		サッカー場人工芝補修 1,659,000円	○	◎		

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	学校体育施設の開放	<p>○学校開放施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 14校</li> <li>・中学校 4校</li> </ul> <p>○使用時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校体育館 平日 18時～22時 土日祝 8時～22時</li> <li>・小学校校庭 平日 18時～22時(大生小, 飯沼小のみ) 土日祝 8時～17時(大生小, 飯沼小は22時まで)</li> <li>・中学校体育館, 武道場 平日 18時～22時 土日祝 8時～22時</li> <li>・中学校校庭 土日祝 8時～17時</li> </ul> <p>○使用団体数 78団体</p> <p>○使用人数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館 64,193人</li> <li>・校庭 14,346人</li> <li>・武道場 9,560人</li> </ul>	○	平成26年4月より石下西中学校の協力を得て、学校体育施設の開放を再開し、市民のスポーツの場の拡大に努める。	◎	
	施設管理・運営体制の充実	<p>○水海道総合体育館へスポーツ振興係が従事。正職員5名、臨時職員2名が配置した。</p> <p>※臨時職員1名は、証明書発行用務に伴う増員</p> <p>○石下総合体育館に管理係が従事。正職員 5名、臨時職員2名が配置した。</p>	○	スポーツ振興の更なる向上と市民サービス向上並びに施設管理経費削減に向け、指定管理者制度導入に向けた準備業務の実施。	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
②	指導者・活動団体の育成 指導者の育成と確保	<p>○スポーツ推進委員の委嘱(22名) 報酬 @30,000円×22名=660,000円</p> <p>①市民歩く会サポート指導者として11名参加</p> <p>②スポーツフェスタ係員及びスポーツ教室への指導協力 16人</p> <p>○スポーツ少年団への指導者養成会参加</p> <p>①スポーツリーダー養成兼日本スポーツ少年団認定員養成講習会への参加(29名)</p> <p>○スポーツ教室での指導者確保</p> <p>①柔剣道教室(体育協会石下柔道部・石下剣友会指導者)</p> <p>②水泳教室(体育協会水泳部)</p> <p>③太極拳教室(体育協会太極拳部)</p> <p>④硬式テニス教室(体育協会テニス部)</p> <p>⑤卓球教室(体育協会卓球部)</p> <p>⑥ウォーキング教室(常総スポーツクラブ)</p>	○	市内各種スポーツ団体へ、国及び県からの指導者養成講習会や指導者研修会の情報を積極的に提供していく。更に、主催するスポーツ教室において、市内スポーツ団体会員を指導者として依頼し、地域の人的資源を有効に活用するとともに、地域のスポーツ団体の活性化につなげる。	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人的資源、ネットワークを有効活用して指導者を発掘し、継続して取り組んで欲しい。</li> <li>・体協所属の各種団体への支援の継続を望む。</li> </ul>

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	活動団体の支援	<p>○体育協会並びにスポーツ少年団の事務局を課内に置き、加盟する各種スポーツ団体や会員の交流や自主事業の充実を図る。また、団体運営のための補助金申請を行う。【補助金交付額】</p> <p>①体育協会 2,110,000円</p> <p>②スポーツ少年団 934,000円</p>	○	<p>スポーツ団体の事務局として、上部団体(日本体育協会、茨城県体育協会)等の情報を周知するとともに、連携を密にし、加盟するスポーツ団体への支援を実施しながら、主催大会の充実に向け企画、運営を支援していく。</p>	◎	
	総合型地域スポーツクラブの育成	<p>○活動事業の広報支援【お知らせ版への掲載】※主催事業の募集</p> <p>○スポーツ事業の委託【ウォーキング教室開催委託費 100,000円】</p>	○	<p>活動場所を確保するとともに、活動状況を広く市民に知らせ、会員の拡大と事業の充実を支援していく。</p>	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
③スポーツ活動の促進						
	生涯スポーツの普及	<p>○各種スポーツ教室の開催 【スポーツ推進・普及分野】 ①柔剣道教室②ジュニアハンドボール教室 ③レディースゴルフ教室④ジュニアゴルフ教室⑤硬式テニス教室⑥卓球教室⑦ジュニアスキー教室 【健康推進分野】 ①健康水泳教室(昼の部)②健康水泳教室(夜の部)③アクアビクス教室④太極拳教室⑤シェイプアップ教室⑥ウォーキング教室 ※募集定員 1590人に対し 応募者数 986人 ニーズ度 62% ※参加者総数 3,941人 ※事業経費 1,180,198円</p>	○	教室により、人気度に格差が生じ始めているため、市民のニーズに対応し、新たな種目の導入も検討しながら、内容の充実に努め継続していく。	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ振興課は生涯を通しての健康づくりのリーダーとして継続して取り組んで欲しい。</li> <li>・茨城国体のハンドボール開催地として成功を祈る。</li> <li>・経費削減、施設管理のため指定管理制度の導入を望む。</li> </ul>
	スポーツイベントの開催	<p>○平成25年度親子deいきいきスポーツ体験フェスタの開催 ※事業経費 1,146,666円 ※参加者数 約1,300人</p>	○	市を代表するスポーツイベントとして定着しており、新たなスポーツの種目を導入するなどの検討をしながら継続していく。	◎	
	自主企画の推進	<p>○市内各種スポーツ団体への活動補助金申請受付(26団体) 1,021,400円</p>	○	市内各種スポーツ団体の自主活動の活性化と充実のため継続していく。	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	競技スポーツの振興	○国体記念茨城県中学校ハンドボール大会 ※参加校 男子む17校 女子13校 合計 30校 ※事業費 412,900円 (内 市負担分 299,400円)	○	平成31年度開催の国民体育大会におけるハンドボール開催地として、大会の更なる充実と競技力の向上を視野に入れ継続していく。	◎	

2-(3) 地域文化の醸成						
①地域文化振興体制の充実						
	活動団体の育成	常総市文化協会所属の文化団体は高齢化により減少傾向にある。	△	引き続き組織維持と会員数増加に努める	○	・文化芸術審議会が形骸化しないように活動して欲しい。 ・組織の高齢化は避けられないので少数精鋭でも仕方ないと思う。
	文化芸術振興計画の策定	文化芸術審議会を開催し、計画策定のための答申の作成を進めている。	○	引き続き文化芸術振興計画の策定を目指す	◎	
②地域文化活動の推進						
	文化事業の推進	長塚節文学賞・篠山木挽き唄等大規模な文化イベントを実施中。また長塚節没後100年顕彰事業の準備作業も進んでいる。	○	引き続き常総市の文化教養拡大を目指す	◎	・担当者の熱意で長塚節文学賞が全国レベルにまで成長し、うれしく思う。
	地域文化活動の支援	文化協会の事務支援、千姫祭りに伴う歴史的文化財展示の解説拡充などを行っている。	○	情報の充実を引き続き目指す。	◎	・引き続き地域文化の発信に取り組んでいただきたい。
	地域文化情報の発信	文化協会報の発行や、地域文化団体広報の支援等を実施。	○	情報の充実を引き続き目指す。	◎	
③郷土遺産の保全と継承						
	郷土遺産の調査・保護の充実	県営畑整備総合事業対象地において埋蔵文化財の発掘（第一次調査）を平成26年は実施中。平成27年度の第二次調査にて全域の調査を終える予定。	○	来年度と合わせて詳細な調査を行う。	◎	・カリキュラムに郷土遺産に関する単元等を学校の協力を得て取り入れて欲しい。 ・郷土遺産担当部署を設置してはどうか。

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	歴史文化等資料の整備と情報提供	民俗資料館の資料や古文書等の整理実施には人的資源が不足。	×	人的・時間的余裕の確保を目指す	×	
	郷土学習の推進	郷土の先人新聞づくり等の活動への積極的	○	継続して進める	◎	